

令和3年度 当初予算のポイント



目 次

● 3年度予算編成のフレーム	1
● 一般会計当初予算の特色	2
● 一般会計当初予算の概況	
・ 歳 入	3
・ 歳 出（目的別・性質別）	4
● 資 料 編	6
● 基 本 目 標	8



鹿 児 島 市



マグマシティ PRキャラクター
マグニオン

「新しい時代に対応する鹿児島市」

の創造に取り組む予算

「市民のための市政」
本市の持続的な発展を目指します！

特に重点的に取り組む4つの政策

1 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る

～ 徹底した感染拡大防止と社会経済活動の両立 ～

コロナ対策関係者会議経費、プレミアムポイント事業
感染症に強いまちづくり推進事業 など

2 鹿児島に稼げる仕事をつくる

～ 国際都市づくりの推進や新しい産業・仕事の創出、ICTの積極的な活用 ～

商工業振興プラン推進事業、ECサイト・ホームページ導入等支援事業
海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業 など

3 全ての人に希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる

～ 安心して子育て環境づくりや福祉施策の推進 ～

保育士確保関連事業、認知症あんしんサポート事業
母校応援ふるさと寄附金事業 など

4 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる

～ 防災や環境など将来を見据えたまちづくり ～

SDGs推進事業、防災ガイドマップ作成・配布事業
脱プラスチック生活チャレンジ事業 など

令和3年度当初予算

(単位：千円, %)

会 計	令和3年度 (A)		令和2年度 (B)		比較 (A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一 般 会 計	266,154,000	56.7	277,111,000	57.4	△10,957,000	△4.0
特 殊 要 素	3年度前倒し分	3,885,839	-	-	3,885,839	-
	2年度前倒し分		-	5,363,785	-	△5,363,785
※特殊要素を考慮した場合の一般会計	270,039,839	-	282,474,785	-	△12,434,946	△4.4
特 別 会 計	132,518,000	28.2	131,887,000	27.4	631,000	0.5
企 業 会 計	70,644,000	15.1	73,589,000	15.2	△2,945,000	△4.0
合 計	469,316,000	100.0	482,587,000	100.0	△13,271,000	△2.7

●一般会計当初予算の特色

I 予算規模

一般会計予算規模 2,662億円 (△110億円)

前倒し分を含めた実質的な予算規模 2,700億円 (△124億円)

II 歳入の主なもの

○ 市 税	822億円	(△55億円	△ 6.3%)
※ R2 猶予特例分を除く	808億円	(実質△ 69億円	△ 7.9%)
○ 地方消費税交付金	132億円	(△ 1億円	△ 0.9%)
○ 地方交付税	298億円	(△22億円	△ 6.9%)
○ 国庫支出金	647億円	(△11億円	△ 1.7%)
○ 市 債	303億円	(+28億円	+10.1%)
うち臨時財政対策債	129億円	(+ 43億円	+ 50.0%)

III 歳出の主なもの

○ 基本目標ごとの予算額と主な事業

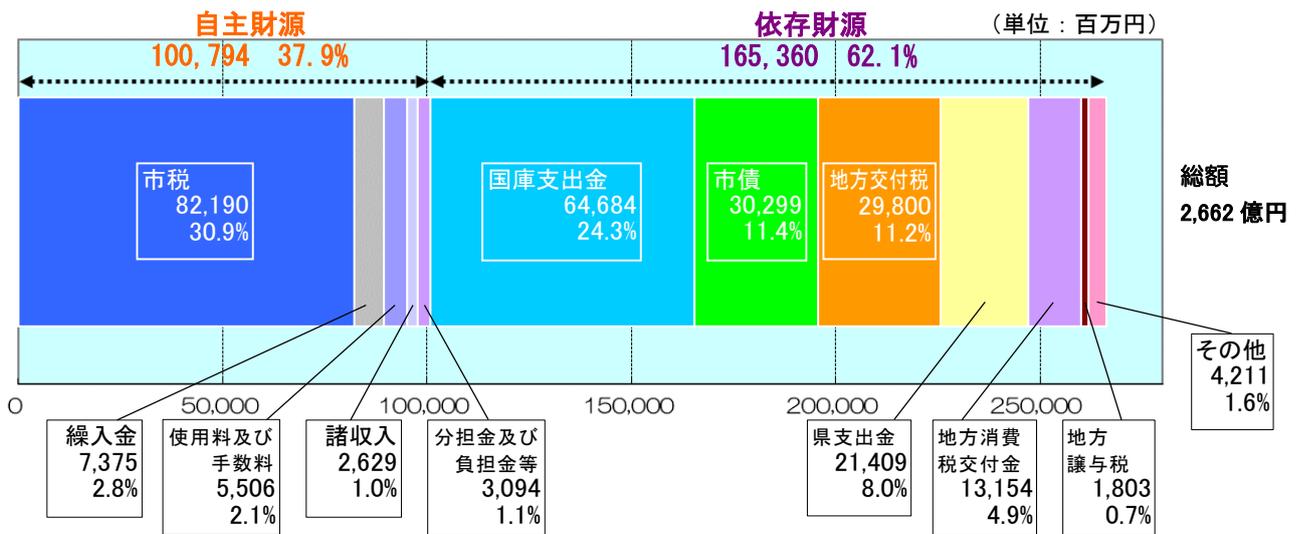
1 市民と行政が拓く 協働と連携のまち	41億円
<ul style="list-style-type: none"> ・行政デジタル化推進事業 ・官民連携プラットフォーム(仮称)事業 	
2 水と緑が輝く 人と地球にやさしいまち	152億円
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボン市役所に向けた電力量等調査事業 ・ミルクボランティア活動支援事業 	
3 人が行き交う 魅力とにぎわいあふれるまち	77億円
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルツーリズム現況調査事業 ・「メイドインかごしま」支援事業 	
4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち	1,379億円
<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳アプリ導入事業 ・救急救命体制の充実・強化事業 	
5 学ぶよろこびが広がる 誇りあるまち	138億円
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の情報化推進事業 ・電子図書館サービス導入事業 	
6 市民生活を支える 機能性の高い快適なまち	219億円
<ul style="list-style-type: none"> ・千日町1・4番街区市街地再開発事業 ・まちなか図書館(仮称)整備事業 	
※ 新型コロナウイルス感染症対策関連(再掲)	21億円

IV 基金と市債の状況

※市債は、臨時財政対策債を除いた額

○ 基金残高	3年度末見込み	208億円(+8億円)
○ 市債残高	3年度末見込み	1,607億円(+66億円)
○ プライマリーバランス		△2.7億円(赤字)

●一般会計当初予算の概況（歳入）



一般会計歳入予算款別前年度比較表

(単位：百万円, %)

区分	款	令和3年度(A)		令和2年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	市税	82,190	30.9	87,716	31.7	△5,526	△6.3
	分担金及び負担金	1,187	0.4	1,333	0.5	△146	△10.9
	使用料及び手数料	5,506	2.1	6,067	2.2	△561	△9.2
	財産収入	831	0.3	272	0.1	559	205.6
	寄附金	652	0.2	456	0.2	196	42.9
	繰入金	7,375	2.8	11,198	4.0	△3,823	△34.1
	繰越金	424	0.2	2,586	0.9	△2,162	△83.6
	諸収入	2,629	1.0	2,551	0.9	78	3.1
	小計	100,794	37.9	112,179	40.5	△11,385	△10.1
依存財源	地方譲与税	1,803	0.7	1,897	0.7	△94	△5.0
	地方消費税交付金	13,154	4.9	13,268	4.8	△114	△0.9
	地方交付税	29,800	11.2	32,000	11.6	△2,200	△6.9
	国庫支出金	64,684	24.3	65,804	23.7	△1,120	△1.7
	県支出金	21,409	8.0	22,527	8.1	△1,118	△5.0
	市債	30,299	11.4	27,508	9.9	2,791	10.1
	その他	4,211	1.6	1,928	0.7	2,283	118.4
小計	165,360	62.1	164,932	59.5	428	0.3	
合計	266,154	100.0	277,111	100.0	△10,957	△4.0	

増減の主なもの

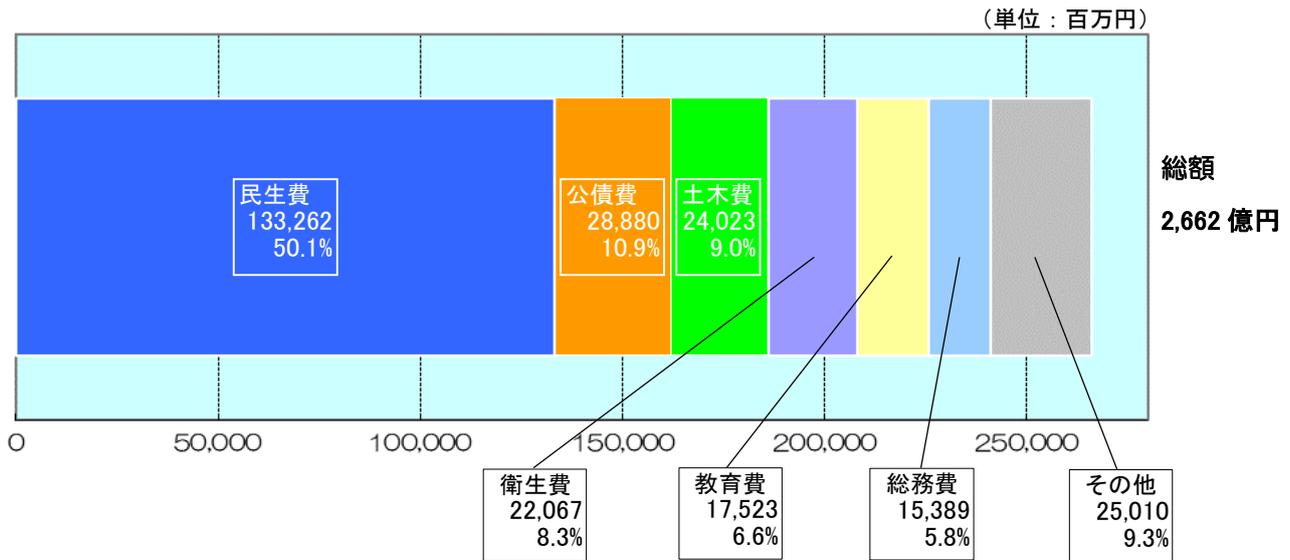
(自主財源)

- 市税 ・法人市民税(△19.7億円)・固定資産税(△18.1億円)・個人市民税(△13.5億円)
- 使用料及び手数料 ・商工使用料(水族館使用料等)(△3.4億円)
- 繰入金 ・市債管理基金繰入金(△16.1億円)・建設事業基金繰入金(△15.0億円)
- 繰越金 ・R2年度からの繰越金(△21.6億円)

(依存財源)

- 地方交付税 ・普通交付税(△22.0億円)
- 国庫支出金 ・ごみ処理施設整備事業費(新南部清掃工場整備・運営事業費等)(△21.9億円)
・児童福祉費(障害児通所等支援事業費等)(+8.8億円)
- 県支出金 ・国体推進費(国体会場市町村運営交付金等)(△10.6億円)
- 市債 ・臨時財政対策債(+43.0億円)・借換債(△19.7億円)
- 地方特例交付金 ・新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金(+20.7億円)

●一般会計当初予算の概況（歳出・目的別）



一般会計歳出予算（目的別）前年度比較表

(単位：百万円、%)

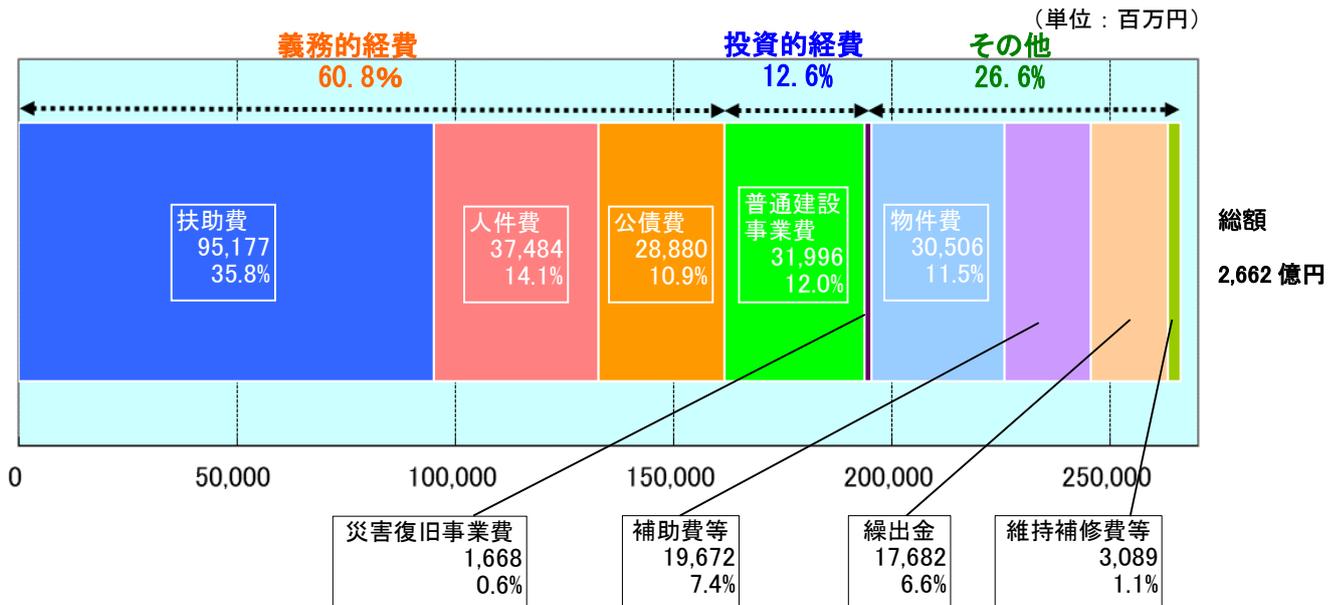
款	令和3年度(A)		令和2年度(B)		比較(A-B)	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,026	0.4	1,057	0.4	△31	△ 3.0
総務費	15,389	5.8	17,740	6.4	△2,351	△ 13.3
民生費	133,262	50.1	131,732 (131,750)	47.6	1,530 (1,512)	1.2 (1.1)
衛生費	22,067	8.3	25,061	9.0	△2,994	△ 11.9
農林水産業費	2,620 (2,625)	1.0	2,343	0.8	277 (282)	11.8 (12.0)
商工費	8,163 (8,292)	3.1	10,326	3.7	△2,163 (△2,034)	△ 20.9 (△ 19.7)
土木費	24,023 (24,814)	9.0	29,770 (30,741)	10.8	△5,747 (△5,927)	△ 19.3 (△ 19.3)
消防費	5,975	2.2	6,380	2.3	△405	△ 6.3
教育費	17,523 (20,484)	6.6	17,312 (21,687)	6.3	211 (△1,203)	1.2 (△ 5.5)
災害復旧費	1,668	0.6	1,458	0.5	210	14.4
公債費	28,880	10.9	28,789	10.4	91	0.3
諸支出金	5,458	2.0	5,043	1.8	415	8.2
予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
合計	266,154 (270,040)	100.0	277,111 (282,475)	100.0	△10,957 (△ 12,435)	△ 4.0 (△ 4.4)

※()内は前倒し分を含む

増減の主なもの

総務費	・光ブロードバンド整備促進事業(△5.4 億円)	・国勢調査(△2.9 億円)
民生費	・障害児通所等支援事業(+11.3 億円)	・障害福祉サービス給付事業(+9.1 億円)
	・施設型給付費(+5.4 億円)	・施設等利用給付費等事業(△4.7 億円)
衛生費	・感染症予防医療事業(+7.3 億円)	・新南部清掃工場整備・運営事業(△28.0 億円)
農林水産業費	・降灰地域防災営農対策事業(+3.2 億円)	・市単独土地改良事業(△1.6 億円)
商工費	・雇用維持支援金事業(+3.7 億円)	・国民体育大会等開催事業(△22.3 億円)
土木費	・千日町1・4番街区市街地再開発事業(+4.4 億円)	・中央町19・20番街区市街地再開発事業(△22.1 億円)
	・吉野地区土地区画整理事業(△7.6 億円)	・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業(△4.5 億円)
消防費	・消防分団舎整備事業(△1.1 億円)	・消防車両等高性能化事業(△0.6 億円)
教育費	・校舎・屋体等整備事業(+8.4 億円)	・校舎建替事業(+6.7 億円)
災害復旧費	・寺山炭窯跡災害復旧事業(+1.1 億円)	・茶山ドームまつもと災害復旧事業(+1.0 億円)

●一般会計当初予算の概況（歳出・性質別）



一般会計歳出予算（性質別）前年度比較表

(単位：百万円, %)

区分	性質別	令和3年度(A)		令和2年度(B)		比較(A-B)	
		当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人件費	37,484	14.1	38,128	13.8	△644	△1.7
	扶助費	95,177	35.8	92,538	33.4	2,639	2.9
	公債費	28,880	10.9	28,789	10.4	91	0.3
	小計	161,541	60.8	159,455	57.6	2,086	1.3
投資的経費	普通建設事業費	31,996 (35,877)	12.0	41,721 (46,571)	15.1	△9,725 (△10,694)	△23.3 (△23.0)
	補助	20,512 (24,393)	7.7	26,933 (31,783)	9.7	△6,421 (△7,390)	△23.8 (△23.3)
	単独	11,484	4.3	14,788	5.4	△3,304	△22.3
	災害復旧事業費	1,668	0.6	1,458	0.5	210	14.4
	補助	1,339	0.5	1,231	0.4	108	8.8
	単独	329	0.1	227	0.1	102	45.1
小計	33,664	12.6	43,179	15.6	△9,515	△22.0	
その他	物件費	30,506	11.5	31,801 (32,297)	11.5	△1,295 (△1,791)	△4.1 (△5.5)
	維持補修費	2,027	0.8	2,258	0.8	△231	△10.2
	補助費等	19,672 (19,677)	7.4	21,586 (21,604)	7.8	△1,914 (△1,927)	△8.9 (△8.9)
	積立金	103	0.0	106	0.0	△3	△2.3
	投資及び出資金	854	0.3	562	0.2	292	52.0
	貸付金	5	0.0	13	0.0	△8	△60.0
	繰出金	17,682	6.6	18,051	6.5	△369	△2.0
	予備費	100	0.0	100	0.0	0	0.0
小計	70,949	26.6	74,477	26.8	△3,528	△4.7	
合計	266,154 (270,040)	100.0	277,111 (282,475)	100.0	△10,957 (△12,435)	△4.0 (△4.4)	

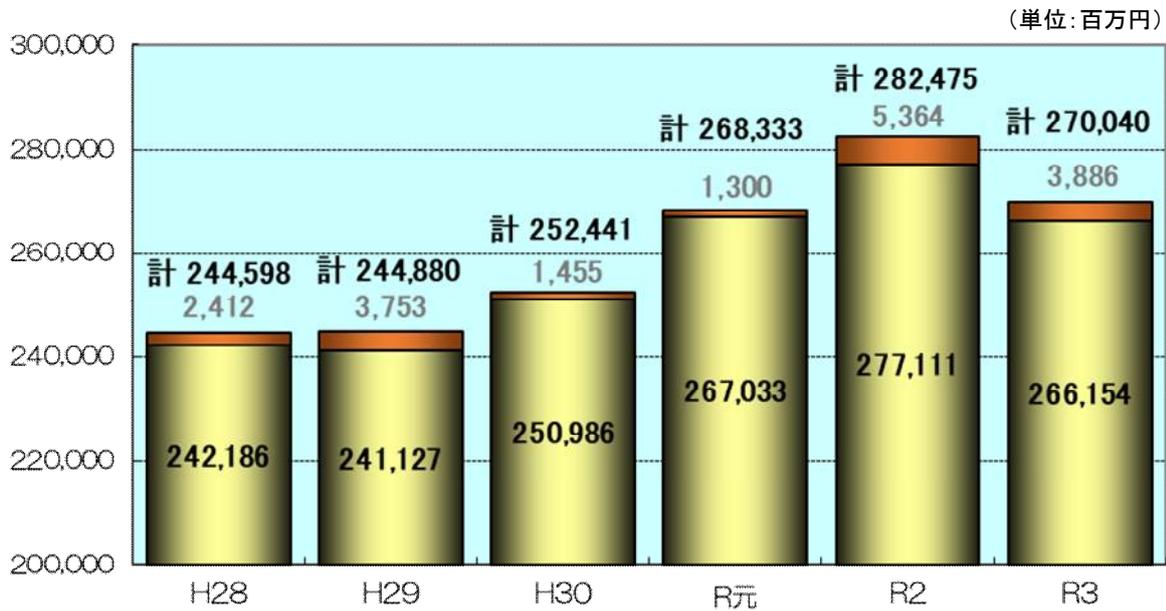
※ ()内は前倒し分を含む

増減の主なもの

人件費	・職員の退職手当(△5.6億円)	・障害福祉サービス給付事業(+9.1億円)
扶助費	・障害児通所等支援事業(+11.3億円)	・中央町19・20番街区市街地再開発事業(△22.1億円)
普通建設事業費	・新南部清掃工場整備・運営事業(△29.3億円)	・茶山ドームまつもと災害復旧事業(+1.0億円)
災害復旧事業費	・寺山炭窯跡災害復旧事業(+1.1億円)	・教師用教科書・指導書購入費(△2.0億円)
物件費	・プレミアムポイント事業(+2.9億円)	・国民体育大会等開催事業(△22.2億円)
補助費等	・雇用維持支援金事業(+3.7億円)	・桜島観光施設特別会計繰出金(△0.7億円)
繰出金	・保険基盤安定制度繰出金(△3.4億円)	

● 資料編

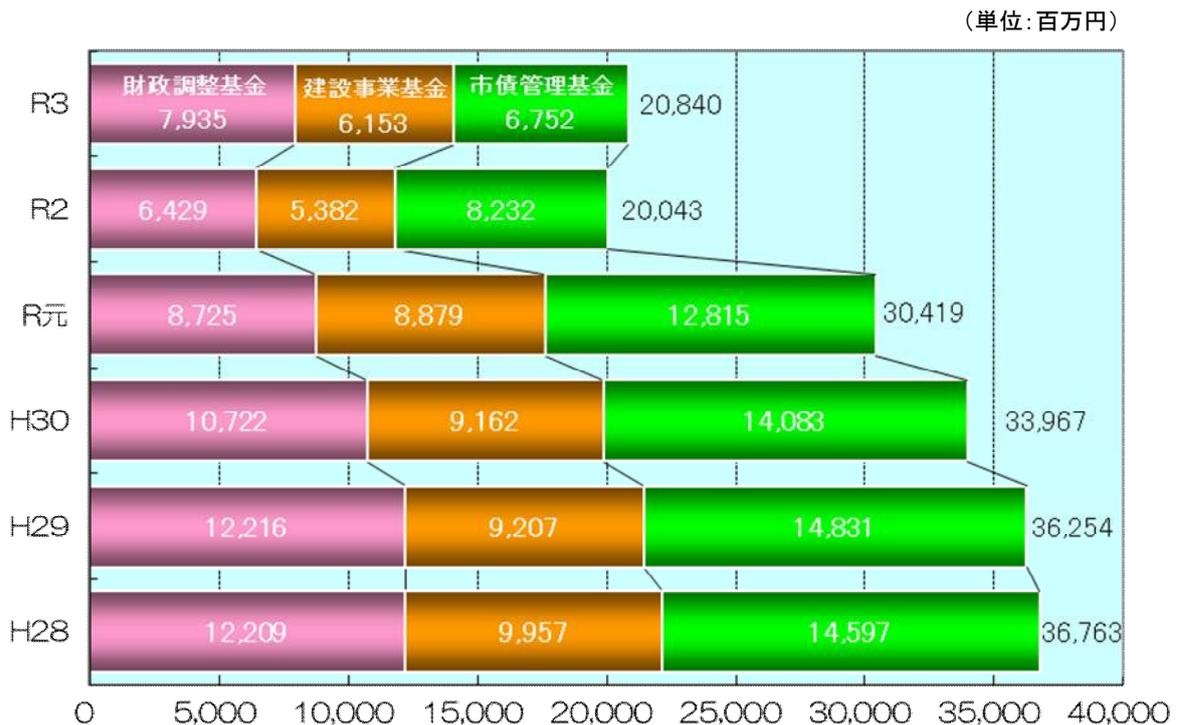
1 一般会計予算規模の推移



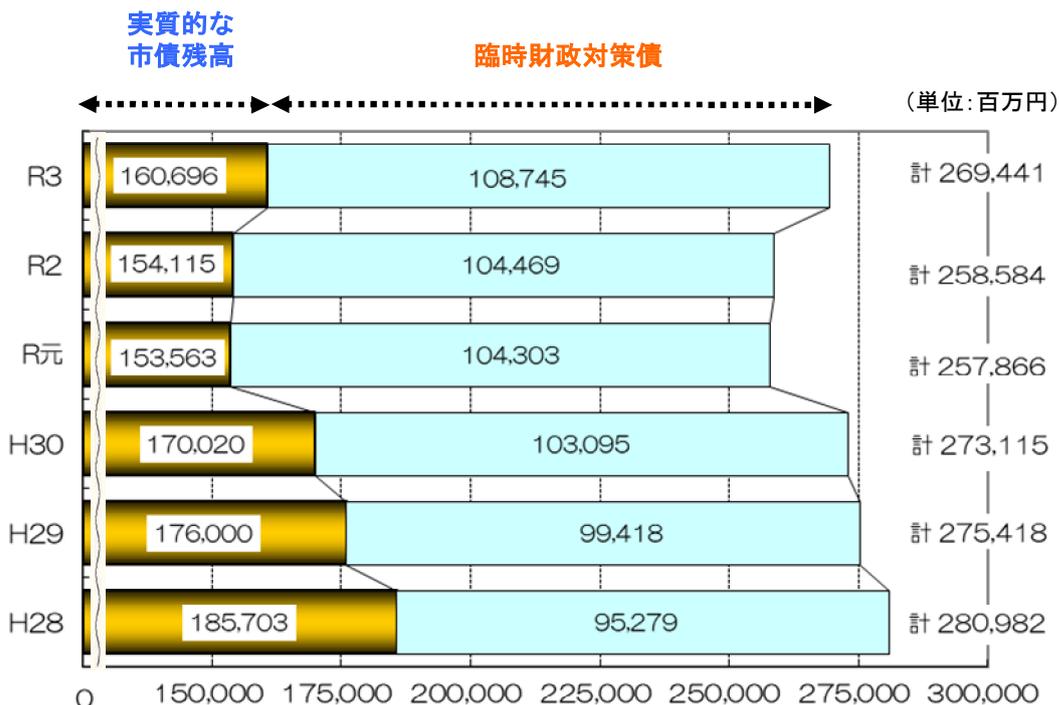
※上部分は前年度への前倒し分

2 基金残高の推移

- (1) グラフの左部分は財政調整基金、中央部分は建設事業基金、右部分は市債管理基金の残高。
 (2) R元年度までは決算額、2年度及び3年度は当初予算時の見込額。

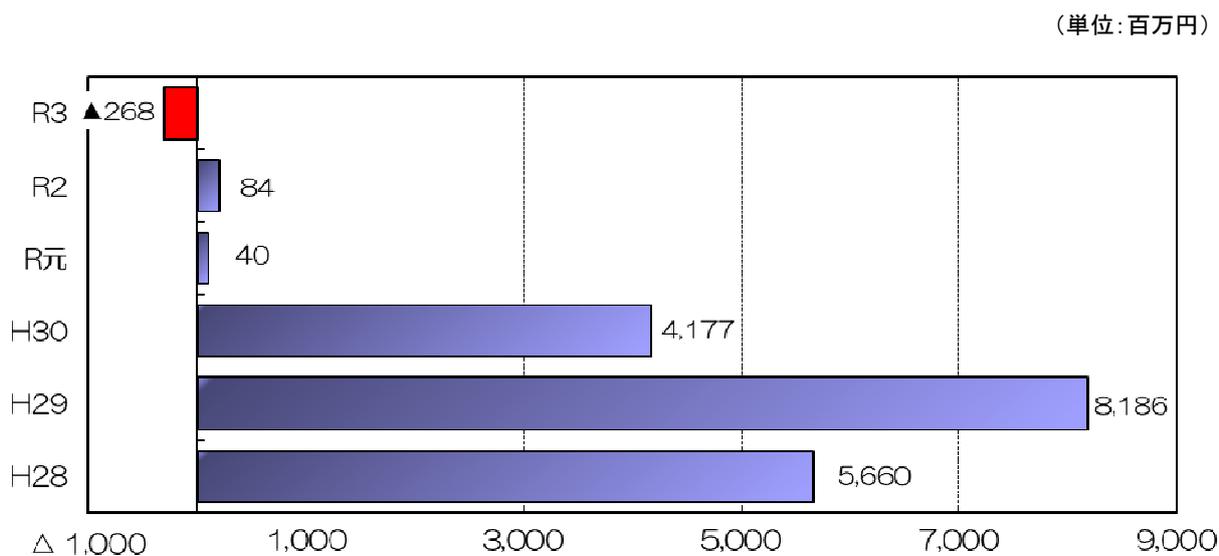


3 市債残高の推移



- (1) グラフの左部分は、臨時財政対策債を除いた実質的な市債残高。
- (2) グラフの右部分は、実質的な地方交付税である臨時財政対策債。
- (3) H30年度までは同意ベースの決算額、R元年度は決算見込額、2、3年度は当初予算時の見込額。
- (4) R2年度から、公共下水道事業（雨水）の市債残高を公共下水道事業特別会計に移管している。

4 プライマリーバランス（基礎的財政収支）の推移



- (1) プライマリーバランスとは、市債を除いた歳入と元金を除いた歳出を比較したもの。
- (2) R3年度当初予算時のプライマリーバランスはH12年度以来の赤字となっている。
(実質的な地方交付税である臨時財政対策債と実質的な市税である猶予特例債を除いたもの。)

● 基本目標

1 市民と行政が拓く 協働と連携のまち

～信頼・協働政策～

- 1.地域社会を支える協働・連携の推進
- 2.自主的・自立的な行財政運営の推進

2 水と緑が輝く 人と地球にやさしいまち

～うるおい環境政策～

- 1.低炭素社会の構築
- 2.循環型社会の構築
- 3.うるおい空間の創出
- 4.生活環境の向上

3 人が行き交う 魅力とにぎわいあふれるまち

～にぎわい交流政策～

- 1.地域特性を生かした観光・交流の推進
- 2.中心市街地の活性化
- 3.地域産業の振興
- 4.農林水産業の振興

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち

～すこやか安心政策～

- 1.少子化対策・子育て支援の推進
- 2.高齢化対策の推進
- 3.きめ細かな福祉の充実
- 4.健康・医療の充実
- 5.生活の安全性の向上
- 6.総合的な危機管理・防災力の充実

5 学ぶよろこびが広がる 誇りあるまち

～まなび文化政策～

- 1.学校教育の充実
- 2.生涯学習の充実
- 3.市民文化の創造
- 4.スポーツ・レクリエーションの振興
- 5.人権尊重社会の形成

6 市民生活を支える 機能性の高い快適なまち

～まち基盤政策～

- 1.機能性の高い都市空間の形成
- 2.快適生活の基盤づくり
- 3.市民活動を支える交通環境の充実